

# U 協 近 畿 通 心

## ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

### 【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

年明けから新型コロナが猛威を振るってますね。

1日の感染者が全国で7万人、東京で1.4万人、関西で1.8万人を超える急拡大となっています。34都道府県にまん延防止等重点措置が宣言されました。関西では大阪・京都・兵庫が対象です。

1日の感染者数が関西では1万人を超える日が出ています。

とても心配です。

オミクロン株の感染が多いようで、感染力が強いためいつ感染してもおかしくない状況ですね。私たちも、これまで以上に感染予防対策に注意しながら事業を進めています。

そんな中、皆様の商売繁盛祈願と新春セミナー「大前さんに学ぼう」のお年玉プレゼントを求め、1月9日早朝に西宮神社の宵えびすに行ってきました。思ったより人が少なかったです。

今年も奉納マグロはショーケースに入ったままで小銭を貼りつけることはできませんでした。

本えびすの福男選びも昨年に続き今年も中止で残念でしたが、やむを得ないですね。

先月は13日に大前さんに「2021年経済から見た今後の経済見通し」を学ぼうをYoutubeLiveで配信しました。最近では新型コロナ禍で、全国の当協会支部と互いにセミナー開催を共有しており、北海道から沖縄まで、たくさんの方にご視聴いただきました。

セミナー後のアンケートでは、86%以上の方が講演内容に満足と回答され、「ぜひ来年も実施して欲しい」という嬉しいご要望も多くありました。

来年も実施を予定していますので、たくさんの方に参加していただけるよう、さらに工夫をしていきます。今回ご参加になれなかった方も来年はぜひご参加ください。

話は変わりますが、北京オリンピックが2月2日(水)～20日(日)の予定で開催されます。その後は、3月4日(金)～13日(日)まで北京パラリンピックです。冬季オリンピックが北京であるのには驚きです。20年前、この時期に家族と北京に行きましたが、寒かったのに雪がなかったので、「えっ」という感じでした。

会場是北京、延慶(エンケイ)、張家口(チョウカコウ)という3ゾーンですね。

北京ゾーンでは氷上競技や開会式・閉会式、北京の中心から北西約75kmに位置する延慶ゾーンでは、アルペンスキー、ボブスレー、リュージュ、スケルトンなどのそり競技、北京より北西約180kmにある張家口ゾーンでは、フリースタイル、クロスカントリー、ジャンプ、ノルディックコンバインドを含むスキーとスノーボード競技の大半と、バイアスロンが行われます。新疆ウイグル自治区の人権問題や新型コロナ禍等で盛り上がりには欠けませんが、選手には頑張ってもらいたいですね。ウクライナ国境周辺もきな臭くなっています。ロシアは進攻するのか、ウクライナのNATO加盟はあるのか目が離せないですね。

今月は、2021年度の締めくくりに向けてラストスパート、2022年度の当初計画策定に向けて検討、いろんな仕込みを考えていきます。

十日えびす



全国えびす神社の総本社！  
西宮神社です。  
思ったより、参拝者が  
少なかったです。



200kgの大マグロ！  
鹿児島本マグロです。

## 【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第88回「考える力を考える」（2021.6.15）をご紹介しました。

いかがだったでしょうか。今回は**第89回「心に届く表現力」**（2021.7.15）をご紹介します。

「言葉の果たせる役割は終わった」という気になる見出しが、6月8日（火）毎日新聞の夕刊2面に大きく載っていました。国語学者・金田一 秀穂さんの談話を記事にしたものです。

コロナ禍の世界では、「人流抑制」などという新しい言葉を繰り返して、国民に我慢の時と呼びかけても「人の感情には届かず上滑りしている」とおっしゃるのです。今回は、「**心に届く表現力**」について考えます。

### 対話で磨く表現力

日本語は、“書き言葉”中心に発達した言語です。文字で書く言葉は誠に豊富です。自然現象や、体や心の動きの表現も多彩ですし、色の表現なども豊かです。ピンク系一つとっても、さくら色、薄紅色、桃色、淡紅色、それにピンクと、微妙な色のイメージを表現できるのです。

ところが、その言葉を音声化すると途端に、語彙は一気に萎えしぼんでしまいます。微妙なニュアンスやイメージの違い、「間」や溜めの情感、心のひだまりでは到底伝えられないでしょう。喜びや悲しみ、感謝や謝罪の気持ちも、どんなに無表情で棒読みであっても、その言葉を言ったという事実さえあれば、日本人は許してしまうのです。この傾向は、デジタル時代の進行とともに、ますます顕著になっています。**心に届く表現力は、対面での生きた対話と電話によって磨かれます。**

**メールやチャットでは磨かれません。**

### 舞台俳優が磨く音の表現力

知人の新劇の演出家から、舞台俳優の音声表現のトレーニングの一端を聞いたことがあります。「分厚い紙とペラペラの紙」、「赤いバラと白いバラ」「石見銀山と東京の銀座」。例題の下線部分の違いを音声で表現させると言うのです。大変に高度な訓練に思えますが、俳優たちにとっては、この程度は基礎訓練なのだそうです。

一方で、**今やAIアナウンサーやAIオペレーターが登場して、ほとんど違和感を感じさせない音声表現で話しています。**私が日本語センターにいた頃は、まだまだ人工音声研究も初期段階で、駅のアナウンスなどは、アナウンサーの声を音節ごとに分解して、それをつなぎ合わせるのだと聞いたことがあります。その頃、研究者の一人から、「頭が痛い、頭にきた、頭の体操と言うときの三つの『ア』は、音声分析をすると全部違う『ア』なんですよ。そこまで意識してアナウンスしますか？」と言われて、微妙な音の違い、意識して音を出すことの難しさを知らされました。**この音の表現力は、今後の大きな課題となるでしょう。**

### 声楽家の歌唱指導

百歳を超えてなお、現役の指導者として活躍されていた、メゾソプラノ歌手の嘉納 愛子さんの指導風景を拝見して感動したことがあります。

指導を受けていたのは、第一線のベテラン指導者たち。「ちょうちょちょうちょ なのはにとまれ！」と、お馴染みのわらべ歌を歌わせます。

「ちょうちょが飛んでない！」「なの花が見えない！」「それじゃ全然絵が浮かんでこない！」

嘉納さんの指導は、それは厳しいものでした。嘉納さんの指導風景を見ながら、アナウンスも朗読も同じじゃないか。そして今、電話対応もまた同じだとつくづく思うのです。**文字ではない、意味だ。文字の表現から抜け出せない限りは、心を届けることはできないのだと。**

AI、頑張っているが……

指導者Kさんから教えていただいた、某AIコールセンターの対応模様をご紹介します。

AI：お電話ありがとうございます。AIがお受けいたします。どうのご用件でしょうか。  
お客さま：お腹が痛くてたまらないの。

AI：承知いたしました。内科の受診のご予約ですね。いつがよろしいですか。

お客さま：今すぐがいいんだけど。

AI：かしこまりました。本日7時に〇〇病院を予約いたしました。お大事に！

この間わずか1分弱、誠に手際の良い対応ですが、**これでお腹が痛いお客さまは満足したでしょうか。**

**このAI対応には人間の心が感じられません。**でも、こうした事務的な対応に、あっという間もなく私たちは慣らされてしまうのでしょうか。そして、**AI対応はこれでいいのだと割り切る人が増えてくるような気がいたします。**

このことは、電話対応に限りません。冒頭の金田一 秀穂さんが言われる通り、「人の感情に届かない上滑りの言葉」が行き交う、乾いたコミュニケーション社会になりそうな危惧を抱きます。そうならないためにも、**話し言葉の表現力を高めて行きたい**と思います。

## 【ユーザ協会の得意技！ こんなICTの紹介をしています。へえ～ そうなんだ。】

今回は「大学の授業をインターネットで《第7回》」（2021.10.12）をご紹介します。  
生涯学習と言われて久しく、何歳になっても学ぶ機会を得ることができるようになりました。加えて、近年では「**リカレント教育**」とあって、大学や大学院で学びなおす社会人が増えています。大学や大学院でなくとも、自らの興味のある分野を探究することは、将来のキャリア形成にも大きな効果をもたらします。今回は、その学び方の一つとして、気軽にすぐに始められるインターネットを通じた学びを紹介します。

### 日本版MOOC「JMOOC（ジェイムーク）」

「**無料で学べるオンライン大学講座**」として開講されているのが、**JMOOC（日本オープンオンライン教育推進協議会・<https://www.jmooc.jp/>）**です。

2012年前後から、欧米の有名大学がそれぞれに開講していたオンライン講座があり、世界中どこからでも、好きな時に学べる環境がありました。それらを総称してMOOC（Massive Open Online Course）と呼んでいます。

その日本版として、2014年JMOOCが生まれました。MOOCは英語での講義が中心であるのに対し、JMOOCでは日本語のコンテンツが準備されており、大学の授業だけでなく、社会人として知っておきたい基礎知識などすぐに役立つテーマも含まれています。

**会員登録さえすれば、スマートフォンでもパソコンでも、インターネットを通じて、誰もが無料で受講できます。**

大学ではこれまで、平日夜間や休日などに社会人向け公開講座が行われてきましたが、JMOOCでは、それらの内容に比べ、やや専門的であり、講義終了後にミニテストが準備されていたり、レポート提出が求められたりします。

それらの成績が基準を満たせば、修了証が発行されるなど、学習意欲が高められるようになっていきます。

### gacco（ガッコ）とOpenLearning, Japan

JMOOCの一つとして「**gacco（<https://gacco.org/>）**」というサービスがあります。

N T Tドコモグループが提供しているサービスです。さまざまな大学の講義が受けられるだけでなく、企業がノウハウを解説する講義もあります。中には、親子で学べるようなコンテンツもあり、幅広く学べるようになっています。

講師が作成した短い動画教材とスライド教材を見ながら受講します。そのあと、ミニテストで理解度を確認します。これが週1回程度配信され、数週間継続して受講します。

スマートフォンでもパソコンでも受講することができるので、ちょっとしたスキマ時間を有効に活用できます。

JMOOCには、gaccoのほかにも、「**OpenLearning, Japan（<https://open.netlearning.co.jp/index.aspx>）**」というサービスがネットラーニング社から提供されています。

gaccoと仕組みはほぼ同じですが、提供されている講座は異なります。九州大学をはじめとした国内の有名大学だけでなく、マサチューセッツ工科大学、イェール大学など、海外の大学の授業も準備されています。**日本にいながら海外の大学の授業が受けられるのが魅力です。**

### 企業内研修にも応用できる

JMOOCは、基本的には個人を対象にした公開講座ですが、企業内（受講生を限定したクローズな環境）でも利用できるようになっています。

例えば、商品やサービスの特長や販売方法などを学習する教材を動画とスライドとで作成し、JMOOCのプラットフォームに載せることで、**社内限定の社員教育・研修用コンテンツを配信することができます。**

これからは、自己学習による研修が増え、どんどん動画教材が取り入れられていくことでしょう。学習者もそれに合わせて学び方を変え、強制されての学習ではない、自発的に自律して学ぶことが求められます。**学ぶ習慣も同時に身につけていきましょう。**

## 【お役立ち情報：大前さんに学ぼうってこんな内容でした】

1月13日（木）大前さんに「2021年経済から見た今後の経済見通し」を学ぼうを開催しました。今回で大前さんに学ぼうは7回目になりました。講演後のアンケートでは高評価で来年もやって欲しいというお声をたくさん頂きました。やる気です。今回は、これまでやりたかったテーマに初めてチャレンジしました。

それは経営者なら誰でも気になる**経済見通し**です。あの世界的名コンサルタント 大前研一さんはどのような見方をされているのでしょうか。

私は、毎年このテーマは大前さんの講演を聴いて事業の参考にしています。

今年の経済見通しどうなるのか、大前さんの講演の概要をご紹介します。

### ■回復と成長を模索する世界【世界経済】

- ・世界経済は、20年の新型コロナにより景気落込みから回復に向かいつつあるが、**直近の変異株等の不安要素が高まる**。
- ・供給不足・物流の停滞・石油価格の急上昇で各国でインフレ不安が高まり、**金融緩和から緩和縮小・利上げに転じる**。
- ・いま世界で起きていることは、過去のスペイン風邪と類似する点が見られ、**パンデミックから生じた世界恐慌が懸念される**。

### ■コロナ禍が加速するビジネス新潮流【産業・企業】

- ・2021年の新しい潮流は、コロナ禍で「**DXの進展**」が加速したこと、「**地球温暖化対策**」で産業構造がシフトし始めたこと。
- ・新しい潮流が生まれ始めた21世紀グローバル競争においては、**理系人材の質と量が企業の勝敗のカギ**を握っている。

### ■国民国家の終焉と新しい世界の視点【国際情勢】

- ・2021年に明確になった大きなトレンドは、「**国民国家の終焉**」「**メガリージョンの台頭**」で世界を複眼的に視るべき。
- ・米国は「**論理の逆転**」を繰り返しており、**自らの視点だけではなく、相手国の立場から考えてみると世界情勢が理解できる**。
- ・習近平氏と中国共産党の動向を念頭に置くと、**欧米にとってのマイナスが中国にとってのプラスになっていることがわかる**。
- ・「**英国なきEU**、**メルケルなきEU**」は新時代に突入、「**反EU感情**」や「**中露の影響**」が懸念され、**先行きは不透明**になった。

### ■コロナが浮き彫りにした没落国家日本【政治】

- ・コロナ禍で**行政・中央政府の機能不全が明白**に。マイナンバーカード施策はお粗末の極み。生体認証もない。
- ・行政などのDXの遅れから、日本の**1人当たり名目GDPが2017年に韓国、2028年に台湾を下回ることが予想**されている。
- ・岸田内閣が標榜する「**新しい資本主義**」「**成長と分配**」の議論は、「**分配する富が創出できていない**」ことが**問題**である。

### ■2022年日本はどうすればいいのか？

- ・世界情勢が米国ではなく中国とその周辺国を中心に動いている今、**日本は米中どちらにも与せず立ち回ることが必要**。
- ・2021年に判明したとおり、日本が取り組むべき課題とその対策はすでに明白であり、「**日本政府のゼロベース構築**」からの取り組み、「**役所、予算、外国人、学校**」の諸問題を解決し、**日本を21世紀型国家へ変革するしかない**。

さあ今年、あなたの会社はどんな事業計画を立ててどのように事業を進められますか。ご参考になれば幸いです。

今回は、3月25日(金)「**モビリティ革命 ～企業が大変革期に勝ち残る条件～**」です。

Googleで「デジタル庁」を検索してみました。検索トップで出てきた結果をクリックしたら、こんなページでした。ちょっと寂しいページですね。政府の機関？ 予算ない？ 職員は約600人、内200人は民間。（出典：ウィキペディア）

（出典：デジタル庁ホームページ）

## デジタル庁

ホーム

活動・施策を知る

声を届ける

新型コロナワクチン接種証明書をアプリで取得  
できます。



新型コロナワクチン接種証明書アプリ

海外から日本への入国時の手続に必要な情報を、事前にオン  
ラインで入力できます。

Visit Japan Webサービス

組織情報

政策

会議等

法令

採用

資料

申請・届出

調達情報

お知らせ

### トピックス

お知らせ

#### 新型コロナワクチン接種状況のダッシュボードと オープンデータをリニューアルしました

今まで、CIOポータルにてご提供してきた新型コロナワクチン接種状  
況のダッシュボードとオープンデータを、3回目の接種状況も加えて、  
リニューアル公開しました。

2022年1月24日

### 注目のトピック

「デジタル社会の実現に向けた重点  
計画」が閣議決定されました

[サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#)

[ウェブアクセシビリティ](#)

[コピーライトポリシー](#) [SNS](#)

[ご意見・ご要望](#) [サイトマップ](#)

そこで、まずデジタル庁の設置について調べてみました。デジタル庁は、デジタル庁  
設置法（令和三年法律第三十六号）により令和三年九月一日に設定されました。

法律によると **内閣にあり、内閣総理大臣がデジタル庁の長**とあります。

あれ、じゃデジタル大臣って何って疑問が湧きますよね。平井元大臣、牧島大臣との  
関係がよくわかりませんね。とっていたら、さすが官僚。第8条にデジタル大臣の条  
文があり、「**内閣総理大臣を助け、デジタル庁の事務を統括し、職員の服務について統  
督する。**」とありました。ちなみに副大臣、大臣政務官、デジタル監の条文もあります。

デジタル庁の任務も規定されてこのようにあります。

- 一 デジタル社会形成基本法第二章に定めるデジタル社会の形成についての基本理念に  
のっとり、**デジタル社会の形成に関する内閣の事務を内閣官房と共に助ける**こと。
- 二 基本理念にのっとり、**デジタル社会の形成に関する行政事務の迅速かつ重点的な遂  
行を図る**こと。

また、**デジタル社会推進会議**も規定されて、こうあります。

- 一 デジタル社会の形成のための施策の実施を推進すること。
- 二 デジタル社会の形成のための施策について必要な関係行政機関相互の調整をすること。

**デジタル推進会議の議長は内閣総理大臣**です。

職員はデジタル事務官、デジタル技官その他所要の職員を置くと定められています。  
所掌は23項も規定してあります。1項だけでも3号あります。

- 一 デジタル社会の形成のための施策に関する **基本的な方針に関する企画及び立案並びに  
総合調整**に関すること。
- 二 関係行政機関が講ずる **デジタル社会の形成のための施策の実施の推進**に関すること。
- 三 前二号に掲げるもののほか、**デジタル社会の形成のための施策に関する企画及び立案  
並びに総合調整**に関すること。

では、国が言うデジタル社会ってどんなものか調べてみました。

デジタル社会形成基本法（令和三年法律大三十五号）の第二条にこう規定してあります。この法律において「**デジタル社会**」とは、インターネットその他の高度情報通信ネットワークを通じて**自由かつ安全に多様な情報又は知識を世界的規模で入手し、共有し、又は発信するとともに**、官民データ活用推進基本法（略）第二条第二項に規定する人工知能関連技術、同条第三項に規定するインターネット・オブ・シングス活用関連技術、同条第四項に規定するクラウド・コンピューティング・サービス関連技術その他の従来の処理量に比して大量の情報の処理を可能とする先端的な技術をはじめとする情報通信技術（略）を用いて**電磁的記録（略）として記録された多様かつ大量の情報を適正かつ効果的に活用すること（略）により、あらゆる分野における創造的かつ活力ある発展が可能となる社会**をいう。

これらを実行する予算を調べてみました。令和4年度は対前年3.5倍。令和3年9月発足ですから1.7倍(12カ月÷7月)かなと思いましたが、結構力が入った要求ですね。

項 目	改正 令和3年度	令和4年度 要求	増減
予 算	1,342億円	4,720億円	+3,378億円
再掲			
デジタル庁共通費	39億円	101億円	+62億円
デジタル社会形成の推進に必要な経費	114億円	18億円	▲96億円
情報通信技術調達等適正効率化の推進に必要な経費	1,187億円	4,600億円	+3,413億円
マイナンバーカード関係システム事業費補助金	113億円	290億円	+177億円
預貯金口座情報提供等業務交付金	87億円	15億円	▲72億円
<b>(再掲) 補正予算</b>	<b>974億円</b>		

ホームページにミッション、ビジョン、バリューがありました。企業みたいですね。どんなことが書かれているのでしょうか。

### ◇ ミッション

**誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化を。**

一人ひとりの多様な幸せを実現するデジタル社会を目指し、世界に誇れる日本の未来を創造します。

### ◇ ビジョン

#### Government as a Service

国、地方公共団体、民間事業者、その他のあらゆる関係者を巻き込みながら有機的に連携し、**ユーザーの体験価値を最大化するサービスを提供**します。

#### Government as a Startup

高い志を抱く官民の人材が、互いの信頼のもと協議し、多くの挑戦から学ぶことで、**大胆かつスピーディに社会全体のデジタル革命を主導**します。

## ◇バリュー

## この国に暮らす一人一人のために

私たちは、この国とともに歩む人々の利益をなによりも優先し、高い倫理観を持ってユーザー中心のサービスを提供します。声なき声にも耳を傾け、一人ひとりに寄り添うことで、誰もがデジタルの恩恵を受ける社会をつくります。

## 常に目的を問い

私たちは、前提や慣習を前向きに疑い、世界に誇れる日本を目指し、新しい手法や概念を積極的に取り入れます。常に目的を問いかけ、「やめること」を決める勇気を持ち、生産性高く仕事に取り組みます。

## あらゆる立場を超えて

私たちは、多様性を尊重し、相手に共感し、学びあい補い合うことによって、チームとして協力して取り組みます。また、相互の信頼に基づいて情報の透明性が高い、オープンで風通しのよい環境をもとに、自律して行動します。

## 成果への挑戦を続けます

私たちは、過度な完璧さを求めず、スピーディに実行し、フィードバックを得ることで組織として成長します。数多くの挑戦と失敗からの学びこそがユーザーへの提供価値を最大化すると信じ、先駆者として学びを社会へと還元しながら、成果への挑戦を続けます。

これからのデジタル庁がどんな動きをしていくのか注視していこうと思います。

「一人ひとりの多様な幸せを実現するデジタル社会を目指し、世界に誇れる日本の未来を創造」をミッションと掲げているのですから、長官である岸田内閣総理大臣には、率先垂範で取り組んで頂きたいと思います。DX推進はTOPの意識改革からですからね。

予算をみて気になった点をいくつか挙げてみます。

皆さんも自分だったらどうするのか考えてみてください。

○生体認証もない住基ネットの延長のマイナンバーカードでこのミッションが達成できるのか。

○内閣からまず閣議の電子化、電子政府（エストニアはやっています）やらないか。

○選挙はスマホでやらないのか。（エストニアはやっています）

○異なる省庁間、地方公共団体のデータベースをどう連携・活用していくのか。

その仕組みはエストニアのX-Roadが参考になるがどうやって実現しようとしているのか。

※ X-Roadとは、エストニアの電子国家を支えるデータ連携基盤（分散されたデータベースをセキュアに連携させるプラットフォーム）

<今年も原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま〜す。写真も大歓迎です。

送り先：[f.kawabata@jtua.or.jp](mailto:f.kawabata@jtua.or.jp)（川畑）までファイル（A4）を送って下さい。

次年度に向けて、  
今始めませんか。  
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会  
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/太田真三(小学館)

次年度に向けて自分を鍛えるのは今ですよ！

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典としてご利用できるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。  
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19講座>

定価33,000円(税込)を当協会  
会員様は**1割引29,700円(税込)**  
でご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の  
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、  
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、  
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿6支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を  
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者あてに送付させていただきます。